

検討経緯：市の花と木について（案）

1. 概要

四国中央市の花と木については、市発足 20 周年に合わせて制定するため、市発足 20 周年記念事業実行委員会において協議を重ねてまいりました。四国中央市のシンボルとなり、これから市を強くアピールしていく花と木を選んだ結果、市の花に「ミツマタ」を、市の木に「五葉松」を候補としました。

紙の原料となる「ミツマタ」は、『日本一の紙のまち』の象徴となり、伝統と海外への発信力を誇る「五葉松」とともに、当市の名声を一層高めてくれるものとして期待するものです。旧 4 市町村の歴史と文化を表す、市民に愛される花と木に、との思いで選定しました。

2. 市の花候補「ミツマタ」について



【ミツマタ】和紙の原料となる、ジンチョウゲ科のミツマタ属に属する落葉性の低木であり、三つ又に分かれた枝の先に黄色い花を咲かせる。新宮町や翠波高原の「みつまたの里」など、当市にはミツマタ畑が広がり、「紙おどり」の歌詞にも「こうぞみつまた花が咲く～♪」と唄われているように、地域に根ざした花といえる。

[実行委員会における意見]

- ・川之江、伊予三島は紙産業が盛んで、ミツマタは和紙の原料として新宮で多く栽培されており、地域性からもよいのではないかと。
- ・ミツマタには「絆」「永遠の愛」「強靱」「壮健」などの花言葉があり、強い結びつきを象徴する花で、旧 4 市町村の繋がりを示しているように思う。

3. 市の木候補「五葉松」について



【五葉松】旧土居町の木に制定されており、東赤石山に太古より自生する松の原種で、盆栽の女王と呼ばれる「赤石五葉松」は世界的にも評価が高い。天然記念物に指定され、400年以上の歴史を誇る市の特産物である。

[実行委員会における意見]

- ・旧土居町の木として、400年以上の歴史と伝統がある保護すべき特産物であり、産業祭においても展示を行うなど、市民に親しみ深い木であると思う。
- ・ローマ法王にも贈られるなど、海外でも「BONSAI」人気は高く、世界にも輸出されていることから、当市を代表する木である。

4. 今後の予定について

「市の花・木の制定」につきましては、タウンコメントの実施結果を踏まえて審議を行い、決定いたします。また、タウンコメントでいただいたご意見を取りまとめ、ホームページに掲載し、4月号の市報で「市の花・木」の発表を予定しております。

なお、当市のマスコットキャラクター「しこちゅ〜」に、決定した「市の花・木」をあしらった新デザインについても検討してまいります。



(参考) 旧市町村の花・木

旧市町村	【花】	【木】
川之江市	菊	松
伊予三島市	つつじ、コスモス	くすのき
土居町	つつじ	五葉松
新宮村	茶	やまざくら